



# Business Report



富士急行株式会社

第107期  
株主通信

2007.4.1-2008.3.31



## 経営理念

# いつも「喜び・感動」



富士急グループは、「富士を世界に拓く」という創業精神のもと、オリジナリティの高い「喜び・感動」を創造することにより、世界の人々の心の豊かさにご貢献します。

## 経営ビジョン

世界中のお客様の立場に立って、120%の安全と最高のホスピタリティの提供を目指します

### 株主重視の経営

自然環境・地域社会を大切に、皆様から信頼される会社になります

社員が夢と誇りを持てる会社となります

富士急グループは十二分に安全を心がけ、ステークホルダー重視の経営をすることにより、アメニティ(夢・喜び・快適・やすらぎ・感動)ビジネスのリーディングカンパニーを目指します。



## Contents

- |                       |                        |
|-----------------------|------------------------|
| 1……ごあいさつ              | 10……Fujiky Information |
| 2……事業別概況（連結）          | 12……営業案内図              |
| 4……連結財務諸表             | 13……株主優待のご案内           |
| 6……単独財務諸表             | 14……株主の方へのお知らせ         |
| 8……THE YEAR IN REVIEW | 16……会社概況・株式情報          |

## ごあいさつ

株主のみなさまには、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。  
平素は、当社事業に対し、格別のご支援を賜り誠にありがとうございます。  
心から御礼申し上げます。

当期におけるわが国経済は、好調な企業収益を背景に堅調な設備投資や輸出の増加などにより景気は緩やかな回復基調を続けてまいりましたが、期後半は原油などの原材料価格の高騰や、米国のサブプライムローン問題の影響などにより、先行きが不透明な状況で推移いたしました。このような状況のなか、当社グループは運輸、不動産、レジャー・サービス、その他の各事業にわたり積極的な営業活動と経営の効率化に努めてまいりました。

運輸事業では、鉄道・バス事業とともに、平成19年9月に静岡県小山町において開催された「F1日本グランプリ」に併せた大規模な輸送を実施いたしました。乗合バスにおいては、平成19年4月に横浜市内の路線「JR桜木町駅前～本牧循環線」の運行を開始、本年2月には東京都渋谷区からコミュニティバス「ハチ公バス」を受託するなど、首都圏における事業拡大を進めました。

レジャー・サービス事業では「富士急ハイランド」において平成19年7月に実寸大ガンダムを格納した新アトラクション「ガンダムクライシス」、新テーマゾーン「カートゥーンラグーン」を、富士南麓の遊園地「Grinpa（ぐりんぱ）」では「M78ウルトラマンパーク」をそれぞれオープンいたしました。また、平成19年2月より運営を開始した「さがみ湖ピクニックランド」では敷地内の2,000本の桜を素材とした「桜まつり」の実施や、オフロードラジコンコースの新設など、自然と調和したレジャー施設として充実を図りました。

山中湖畔旭丘においては、平成19年7月にオーガニックレストランを併設した環境循環型アウトドアリゾート施設「PICA山中湖ヴィレッジ」をオープンし、オリジナリティ溢れた施設・高付加価値の新サービスを提供し、需要の喚起に努めました結果、当期の連結売上高は474億96百万円、経常利益は25億52百万円となりました。

平成20年度におきましても、当社グループを取り巻く事業環境は、原材料価格の高騰や、消費の伸び悩み、消費行動の多様化により、引き続き厳しい状況が続くものと考えられます。

こうした状況のもとで各事業におきまして、安全を全てに優先し、バス事業では引き続き既存路線の不採算要素の見直しと、首都圏への事業拡大を進めてまいります。レジャー・サービス事業につきましては、本年4月より富士本栖湖リゾートにおいて開催した「富士芝桜まつり」が、富士五湖エリアの新たな観光スポットとして30万人を超えるお客様にご来場いただきました。更に、本年7月には「富士急ハイランド」において、新アトラクション「ナガシマスカ」、遊園地「Grinpa（ぐりんぱ）」においては「M78ウルトラマンパーク」内に新アトラクション「ウルトラマンタロウレインボーシップ」を導入し、施設の拡充を図ってまいります。なお、「さがみ湖ピクニックランド」では新キャラクター「パティントン ベア」を起用し、遊園地のイメージを一新するとともに、PICAブランドによるキャンプ場施設の充実を図ってまいります。さらに本年3月、明治28年開業の富士五湖地域最初の洋式老舗ホテル「精進ホテル」を譲り受け、ホテル事業の強化を図るべく、来春のリニューアルオープンに向けて準備を進めております。

本年は新たな中期経営計画を策定し、「ポートフォリオマネジメント戦略」、「エリア戦略」に基づき、「スクラップアンドビルド」を進め、各事業のシナジー効果を高め、企業価値の向上をグループ一体となって追求してまいります。

なお、金融商品取引法に基づく内部統制制度の整備につきましては、文書作成、体制整備を進めてまいりましたが、実施初年度を迎え、評価、運用体制の構築を図り、更なるコンプライアンス体制の強化と効率的な業務プロセスの整備に努めてまいります。また、富士急グループ「企業行動規範」のもと、120%の安全と最高のホスピタリティの提供に努めるとともに、地域社会への貢献、自然環境への配慮等、企業の社会的責任を果たし、アメニティビジネスのリーディングカンパニーを目指してまいります。

株主のみなさまには、今後ともなお一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



平成20年6月

代表取締役社長

堀内 光一郎

## ■ 運輸事業



鉄道事業につきましては、JR東日本との連携による中央線直通列車の増発や沿線イベントとの連携を図るとともに、9月に静岡県小山町において開催された「F1日本グランプリ」に併せた輸送を実施し、増収に努めました。

また、公共交通機関の社会的責任を踏まえ、「安全管理規程」に基づく管理体制の強化を図るため、富士吉田駅に自動列車停止装置（ATS）の増設や、地元消防署との異常時の合同訓練の実施、赤白の踏切遮断棒の設置による視認性向上の検証実験を開始するなど更なる安全対策に積極的に取り組みました。

バス事業における乗合バス営業につきましては、引き続き不採算路線の改善に取り組む一方で、株式会社フジエクスプレスで4月に「JR桜木町駅前～本牧循環線」を運行し、また平成20年2月には、東京都渋谷区からコミュニティバス「ハチ公バス」を受託し、首都圏における事業拡大を進めました。また、平成19年3月から東京都内で供用開始しましたICカード乗車券「PASMO」を神奈川・山梨・静岡に順次導入拡大し、利便性の向上に努めました。



トーマスランド号

高速バス営業につきましては、圏央道開通に伴い北関東地区から富士五湖への誘客を図るため、富士急平和観光株式会社において7月から「渋川・前橋・高崎～富士五湖線」を運行開始し、

また、富士急シティバス株式会社では11月から「沼津～東京駅線」、並びに「沼津～渋谷・新宿線」の平日限定回数券「得夕値きっぷ」を発売し需要喚起に努めました。

貸切バス営業につきましては、引き続きバスセールスセンターを中心に「富士急」ブランドによるトータルセールスに取り組み、9月に開催された「F1日本グランプリ」などの大規模なシャトルバス輸送を受注し、増収に努めました。

ハイヤー・タクシー事業につきましては、静岡県地区で11月、山梨地区で12月に運賃改定を実施するとともに、山梨地区にGPS-AVM自動配車システムを導入し、営業基盤の充実に努めました。

以上の結果、運輸事業の営業収益は17,522,477千円（対前期102.9%）となりました。

### 売上高の推移 (単位:百万円)



桜木町駅前～本牧循環線

## ■ 不動産事業



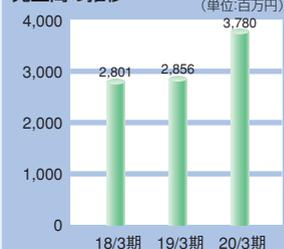
不動産販売事業につきましては、山中湖畔別荘地を「大人達のこだわり実現リゾート」と定義し、建築デザイナーやハウスメーカーとのコラボレーションにより好評を博した、高付加価値のライフスタイル提案型商品「ホンカガーデン山中湖」「ガレージハウス山中湖」の第二期販売を行い、増収となりました。

また、別荘地のバリューアップを図るため、オーナーからの要望を取り入れた施設の導入や、オーナー交流イベントを開催するなど、別荘オーナーの満足度向上に努めました。また、静岡県東部地区において、工場等の進出による住宅需要増を考慮した、宅地分譲販売に取り組みました。

不動産賃貸事業につきましては、定期的な施設の改修や、積極的なテナントリーシングを行い、安定的な収益の確保に努めました。

以上の結果、不動産事業の営業収益は3,780,804千円（対前期132.4%）となりました。

### 売上高の推移 (単位:百万円)

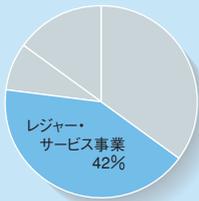


マウントビューヒル山中湖



ガレージハウス山中湖

## ■ レジャー・サービス事業



遊園地事業につきましては、「富士急ハイランド」で、7月に新アトラクション「ガンダムクライシス」の導入、新テーマゾーン「カートゥーンラグーン」のオープン、「世界最恐お化け屋敷『戦慄迷宮』」の完全リニューアルを実施し、平成20年3月には春休み期間中に併せ、人気のアトラクションが待たずに乗れる「絶叫優先券」を発売するなどのほか、時節に応じた各種催事を実施することにより利用客の拡大を図り、

増収に努めました。

富士南麓の遊園地「Grinpa（ぐりんぱ）」では、7月に新テーマゾーン「M78ウルトラマンパーク」をオープンする一方、シルバニアビレッジエリアで各種催事の充実を図り、ファミリー層に好評を博しました。

また、「さがみ湖ピクニックランド」では、敷地内の2000本の桜を素材とした「桜まつり」の実施や、オフロードラジコンコースの新設など、自然と調和したレジャー施設として充実を図り、需要の喚起に努めました。

なお、以上3事業所につきましては、同業他社の遊戯施設の事故を背景に、最優



PICA山中湖ヴィレッジ

先課題として「施設・遊具」の安全対策に率先して取り組み、万全を期しました。

ホテル事業につきましては、「ハイランドリゾート ホテル&スパ」で、「富士急ハイランド」の遊戯施設の優先利用特典付宿泊プランのほか、純和風天然温泉「ふじやま温泉」を兼ね備えたホテルとして各種プランを販売し、需要の喚起と増収に努めました。

ゴルフ場事業につきましては、「富士ゴルフコース」で、レディースプランやシニアプランなど、利用客のニーズに応じた各種企画商品を販売し、増収に努めました。

その他のレジャー・サービス事業につきましては、7月にオーガニックレストランを併設した環境循環型アウトドアリゾート施設「PICA山中湖ヴィレッジ」をオープンし、オリジナリティ溢れた施設・高付加価値の新サービスを提供し、需要の喚起に努めました。

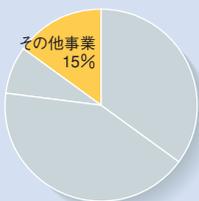
また、11月に、東京都港区から竹芝桟橋客船ターミナル内、カフェレストラン「東京愛らんど」を受託し、当社のノウハウを生かした営業展開により利用者へ好評を博しております。

以上の結果、レジャー・サービス事業の営業収益は21,290,246千円（対前期98.7%）となりました。

### 売上高の推移 (単位:百万円)



## ■ その他事業



富士ミネラルウォーター 富士五湖



ええじゃないか

株式会社レゾナント・システムズ（平成19年4月、株式会社ネプチューンと株式会社富士急情報システムが合併）では、交通機器安全装置等の販売を展開するほか、自社開発ソフトの企業・団体等への販売活動を行いました。また、富士ミネラルウォーター株式会社では、引き続き非常用保存水の販売を拡充するほか、オリジナルラベル商品の開発を図り、増収に努めました。

以上の結果、その他事業の営業収益は7,805,303千円（対前期97.2%）となりました。

### 売上高の推移 (単位:百万円)



# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表（要旨）

科目	期別	当連結会計年度 (平成20年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成19年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>			
<b>流動資産</b>		<b>20,160</b>	<b>23,301</b>
現金及び預金		5,759	6,441
受取手形及び売掛金		2,305	2,681
たな卸資産		10,991	13,088
その他		1,103	1,090
<b>固定資産</b>		<b>63,357</b>	<b>62,378</b>
<b>有形固定資産</b>			
建物及び構築物		28,116	28,018
機械装置及び運搬具		7,920	8,495
土地		15,632	13,519
建設仮勘定		495	275
その他		1,602	1,612
<b>無形固定資産</b>		<b>3,054</b>	<b>3,002</b>
<b>投資その他の資産</b>		<b>6,534</b>	<b>7,454</b>
投資有価証券		4,972	5,732
その他		1,561	1,721
<b>資産合計</b>		<b>83,518</b>	<b>85,680</b>

(単位：百万円)

科目	期別	当連結会計年度 (平成20年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成19年3月31日現在)
<b>(負債の部)</b>			
<b>流動負債</b>		<b>29,610</b>	<b>22,888</b>
支払手形及び買掛金		2,594	3,052
短期借入金		22,842	14,884
賞与引当金		497	505
その他		3,676	4,445
<b>固定負債</b>		<b>37,825</b>	<b>46,686</b>
長期借入金		31,481	40,288
退職給付引当金		1,452	1,520
役員退職慰労引当金		342	—
その他		4,549	4,877
<b>負債合計</b>		<b>67,436</b>	<b>69,574</b>
<b>(純資産の部)</b>			
<b>株主資本</b>		<b>15,472</b>	<b>14,932</b>
資本金		9,126	9,126
資本剰余金		3,399	3,399
利益剰余金		4,345	3,661
自己株式		△1,398	△1,254
<b>評価・換算差額等</b>		<b>97</b>	<b>608</b>
その他有価証券評価差額金		97	608
<b>少数株主持分</b>		<b>511</b>	<b>564</b>
<b>純資産合計</b>		<b>16,081</b>	<b>16,105</b>
<b>負債純資産合計</b>		<b>83,518</b>	<b>85,680</b>

## 連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	期別	当連結会計年度	前連結会計年度
		（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）	（平成18年4月1日から平成19年3月31日まで）
営業収益		47,496	46,414
営業費		43,888	41,703
営業利益		3,608	4,710
営業外収益		284	385
営業外費用		1,340	1,282
経常利益		2,552	3,813
特別利益		513	281
特別損失		845	1,223
税金等調整前当期純利益		2,221	2,871
法人税、住民税及び事業税		947	1,146
法人税等調整額		13	△30
少数株主利益		44	117
当期純利益		1,215	1,638

## 連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	期別	当連結会計年度	前連結会計年度
		（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）	（平成18年4月1日から平成19年3月31日まで）
営業活動によるキャッシュ・フロー		4,225	6,689
税金等調整前当期純利益		2,221	2,871
減価償却費		3,905	3,566
その他損益等調整額		983	1,938
資産・負債の増減額		△402	371
小計		6,707	8,747
利息の支払額等		△2,482	△2,058
投資活動によるキャッシュ・フロー		△3,352	△6,234
有形固定資産の取得による支出		△4,038	△6,640
その他		685	406
財務活動によるキャッシュ・フロー		△1,505	△948
借入金の増減額		△849	△1,439
その他		△656	490
現金及び現金同等物の増減額		△632	△493
現金及び現金同等物の期首残高		6,304	6,798
現金及び現金同等物の期末残高		5,671	6,304

## 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）

（単位：百万円）

	株主資本					評価・換算差額等	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金		
平成19年3月31日 残高	9,126	3,399	3,661	△1,254	14,932	608	564	16,105
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△531		△531			△531
当期純利益			1,215		1,215			1,215
自己株式の取得				△147	△147			△147
自己株式の処分		0		3	4			4
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）						△510	△53	△564
連結会計年度中の変動額合計	—	0	684	△144	540	△510	△53	△23
平成20年3月31日 残高	9,126	3,399	4,345	△1,398	15,472	97	511	16,081

# 単独財務諸表

## 貸借対照表（要旨）

科目	期別	第107期 (平成20年3月31日現在)	第106期 (平成19年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>			
<b>流動資産</b>		<b>17,681</b>	<b>19,113</b>
現金及び預金		4,538	4,674
未収運賃		511	579
未収金		772	655
たな卸資産		9,715	11,768
その他の流動資産		2,158	1,443
貸倒引当金		△14	△6
<b>固定資産</b>		<b>56,751</b>	<b>56,940</b>
鉄道事業固定資産		2,908	2,914
自動車事業固定資産		3,181	3,169
観光事業固定資産		29,070	28,609
土地建物事業固定資産		10,219	10,159
各事業関連固定資産		2,149	2,271
その他の固定資産		395	411
建設仮勘定		489	69
投資その他の資産		8,336	9,335
投資有価証券		5,128	5,963
長期貸付金		2,781	2,834
その他の投資等		530	699
貸倒引当金		△103	△161
<b>資産合計</b>		<b>74,433</b>	<b>76,054</b>

(単位：百万円)

科目	期別	第107期 (平成20年3月31日現在)	第106期 (平成19年3月31日現在)
<b>(負債の部)</b>			
<b>流動負債</b>		<b>24,473</b>	<b>17,083</b>
短期借入金		19,929	11,635
未払金		1,738	2,016
賞与引当金		80	85
その他の流動負債		2,725	3,345
<b>固定負債</b>		<b>34,073</b>	<b>42,582</b>
長期借入金		29,937	38,132
退職給付引当金		197	164
役員退職慰労引当金		342	—
預り保証金		3,490	3,630
その他の固定負債		104	653
<b>負債合計</b>		<b>58,547</b>	<b>59,665</b>
<b>(純資産の部)</b>			
<b>株主資本</b>		<b>15,817</b>	<b>15,869</b>
資本金		9,126	9,126
資本剰余金		3,399	3,399
利益剰余金		4,246	4,173
自己株式		△955	△829
<b>評価・換算差額等</b>		<b>68</b>	<b>519</b>
その他有価証券評価差額金		68	519
<b>純資産合計</b>		<b>15,886</b>	<b>16,388</b>
<b>負債純資産合計</b>		<b>74,433</b>	<b>76,054</b>

## 損益計算書（要旨）

科目		期別		科目		期別	
		第107期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)	第106期 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)			第107期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)	第106期 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)
鉄道事業	業収	1,298	1,281	営業外収益	174	193	
営業	業費	1,273	1,246	営業外費用	1,179	1,145	
自動車事業	業利	25	35	経常利益	1,513	2,384	
自動車事業	業収	2,994	2,832	特別利益	432	114	
営業	業費	2,234	2,273	特別損失	709	917	
観光事業	業利	760	559	税引前当期純利益	1,236	1,582	
観光事業	業収	17,305	17,684	法人税、住民税及び事業税	592	780	
営業	業費	16,518	15,545	法人税等調整額	32	6	
土地建物事業	業利	786	2,138	当期純利益	611	794	
土地建物事業	業収	3,130	2,218				
営業	業費	2,185	1,614				
営業	業利	945	604				
全事業	業利	2,518	3,337				

## 株主資本等変動計算書

第107期（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）

（単位：百万円）

	株主資本									評価・換算 差額等	純資産 合計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本 合計			その他 有価証券 評価差額金
		資本 準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金	利益剰余金 合計					
平成19年3月31日 残高	9,126	2,398	1,000	3,399	1,959	219	1,994	4,173	△829	15,869	519	16,388
事業年度中の変動額												
剰余金の配当							△538	△538		△538		△538
当期純利益							611	611		611		611
自己株式の取得									△129	△129		△129
自己株式の処分			0	0					3	4		4
株主資本以外の項目の事業 年度中の変動額（純額）											△450	△450
事業年度中の変動額合計	—	—	0	0	—	—	72	72	△125	△52	△450	△502
平成20年3月31日 残高	9,126	2,398	1,001	3,399	1,959	219	2,067	4,246	△955	15,817	68	15,886

# THE YEAR IN REVIEW

当期のトピックス紹介



## 横浜市内において路線バスの運行を開始

横浜市内において「桜木町駅前～本牧循環線」の運行を開始いたしました。



© 創通・サンライズ



© TSUBURAYA PROD.

## 新規施設が続々オープン

富士急ハイランドに、世界初となる実寸大ガンダムが格納された「ガンダム クライシス」、富士南麓の遊園地ぐりんぱに「M78ウルトラマンパーク」がオープンいたしました。

## 静岡県小山町においてF1日本グランプリが開催

静岡県小山町にある富士スピードウェイにてF1日本グランプリが30年振りに開催され、観戦ツアーの企画販売、会場までのシャトルバス輸送等、地元企業として積極的に協力いたしました。

2007



## 「ええじゃないか」100万人搭乗達成

2006年7月にオープンした富士急ハイランドの絶叫アトラクション「ええじゃないか」がオープンから約1年4ヶ月で搭乗者数100万人を突破いたしました。

3

2



2008

12



10



## 「東京愛らんど」の運営を開始

東京都港区・竹芝客船ターミナル内に伊豆諸島・小笠原諸島のアンテナショップ「東京愛らんど」の運営を開始いたしました。



## 229 (フジキュー) の日を開催

4年に1度の2月29日を「229 (フジキュー) の日」と定め、富士急ハイランドを中心としたエリアにおいては「ニンニク(229)」と語呂を合わせたイベントが開催されました。また、遊園地ぐりんぱとスノータウン・イエティでは、ペットボトルのキャップを集めて発展途上国の子供へワクチンを寄付する「エコキャップ運動」の贈呈式が開催されました。



## 渋谷区コミュニティバス 「ハチ公バス」新ルート運行開始

渋谷区コミュニティバス「ハチ公バス」の新ルート「神宮前・千駄ヶ谷ルート(愛称:神宮の杜ルート)」の運行を開始いたしました。渋谷駅から明治神宮・表参道・神宮外苑などショッピング・観光施設に恵まれたスポットを結びます。



## 富士急グループ「2008年度－2010年度中期経営計画」の策定について

当社は、経営理念『いつも「喜び・感動」』に基づき、この度、更なる企業価値の向上を追求するため、富士急グループ「2008年度－2010年度中期経営計画」を策定いたしました。本期間につきましては、景気の不透明感等、予断を許さない環境が予想されますが、2007年に富士山が世界遺産暫定リストに入るなどのフォローも期待できます。こうした環境に対処すべく、新たな中長期経営戦略に重点的に取り組んでまいります。

### 1. 数値目標

#### (1) 目標とする経営指標

ROA（連結総資産経常利益率） 2008年3月期（実績） **3.0%** → 2011年3月期 **4.9%**以上

#### (2) 中期連結業績予想

	2008年3月期（実績）	2011年3月期
営業収益	475	515
営業利益	36	53
経常利益	26	42

### 2. 中長期経営戦略

#### (1) ポートフォリオマネジメント戦略

当社グループならではの、3事業のポートフォリオ効果によって収益変動性（リスク）をコントロールしながら収益性（リターン）を最大化へ

#### (2) エリア戦略

富士山を中心とする「3エリア」での事業展開＋「首都圏エリアの機能強化」

##### ① ハイランドエリア

富士五湖周辺観光客1,800万人超から新たな客層を取り込むため、「ふじやま温泉」や「富士芝桜まつり」などの、客層に合わせた戦略的設備投資を推し進め、「富士急ハイランド」「ハイランドリゾート ホテル&スパ」「フジヤマミュージアム」などの当社グループ施設、並びに、周辺地域施設との連携強化を図ってまいります。

##### ② 山中湖エリア

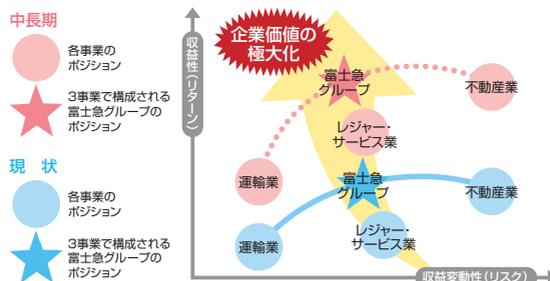
「山中湖畔別荘地」では、「大人達のこだわり実現リゾート」をエリア理念に、ライフスタイル提案型の戦略商品を投入するとともに、「PICA山中湖ヴィレッジ」やアフターサービスの充実といったサプライ機能を強化し、山中湖エリア全体の価値を高めてまいります。

##### ③ フジヤマリゾートエリア

「五感で体感！コミュニケーションリゾート」をエリア理念に、遊園地「ぐりんぱ」、ゴルフパーク「バンディ」、スノータウン「イエティ」、キャンプ場「キャンピカ富士ぐりんぱ」といった体感型アメニティを一段と充実させるとともに、十里木高原別荘地の価値を高めることを通じて、エリア全体の価値向上を図ってまいります。

##### ④ 首都圏エリアの機能強化

当社グループの運輸業・不動産業・レジャー・サービス業などのノウハウを有効活用することにより、「さがみ湖ピクニックランド」等の首都圏でのビジネスを展開し、併せて、富士山周辺エリアへの送客機能等を強化する成長戦略に取り組んでまいります。



## 富士芝桜まつり 富士本栖湖リゾートにて開催

本年4月より、富士五湖の一つである本栖湖に程近いエリア、富士本栖湖リゾートで「富士芝桜まつり」が開催されました。

約70万株のシバザクラと約2.4haの植え付け面積はシバザクラを鑑賞できる施設としては首都圏最大級となり(当社調べ)開催中は多くの観光客で賑わいました。

開催期間中は会場内で「富士山うまいものフェスタ」を同時開催し、富士山周辺の特産物、飲食ブースが「富士芝桜まつり」をより一層盛り上げました。



## 富士急ハイランドに 「ナガシマスカ」が誕生

本年夏、富士急ハイランドに新ウォーターライドアトラクション「ナガシマスカ」が誕生いたします。

このアトラクションは日本初登場となる巻き上げ型ラフティングライドで、円形ボートで高さ18mからの激流を下るアトラクションとなり、スリルと楽しさ、そして涼しさを体感していただけます。



## 遊園地ぐりんぱ・M78ウルトラマンパークに 「ウルトラマンタロウレインボーシップ」が誕生

本年夏、遊園地「ぐりんぱ」にあるM78ウルトラマンパークに新アトラクション「ウルトラマンタロウレインボーシップ」が誕生いたします。

このアトラクションは“振り子”のように左右に揺れる船の中央にウルトラマンタロウが立っている海賊船型アトラクションとなり、ご家族そろってお楽しみいただけます。

また、M78ウルトラマンのテーマレストランも併せて誕生いたします。



© TSUBURAYA PROD.



# 営業案内図



[www.fujikyū.co.jp](http://www.fujikyū.co.jp)

## 富士急グループホームページで最新情報をチェック!

ここで紹介している各施設は、富士急グループのホームページで随時最新情報を発信しています。施設紹介やイベント情報のほか、ホテル・ゴルフ場などのご予約も承っておりますので、お出かけの際は気軽にアクセスしてください!

### 【バス・鉄道】

- バス……………(0555)22-7100
- 高速バス予約センター  
(富士五湖線)……………(0555)72-5111  
(甲府線)……………(055)237-0135  
(東京駅～河口湖駅)……………(0555)72-2922
- 鉄道……………(0555)22-7106

### 【遊園地】

- 富士急ハイランド……………(0555)23-2111
- 遊園地「ぐりんぱ」……………(055)998-1111
- スノータウンYeti……………(055)998-0636
- 初島アイランドリゾート ……(0557)67-2151

### 【ホテル】

- ハイランドリゾート ホテル&スパ ……(0555)22-1000
- ホテルマウント富士……………(0555)62-2111
- 富士宮富士急ホテル……………(0544)23-6666

### 【ゴルフ場】

- 富士ゴルフコース……………(0555)62-1227
- ゴルフパークBandi……………(055)998-1122
- 大富士ゴルフ場……………(0545)21-4111

### 【別荘地】

- 山中湖畔別荘地セルスオフィス……………(0555)62-0043
- 十里木高原別荘地管理センター……………(055)998-1212

# 株主優待のご案内

## 電車・バス・観光施設共通優待券

ご所有株式数	ご優待の内容	枚数
1,000株以上	電車全線乗車(1枚につき片道1名乗車) バス全線乗車(1枚につき片道1名乗車) 富士急ハイランド入園(1枚につき1名入園、5枚につきフリーバス1枚と引換) ぐりんぱ入園(1枚につき1名入園、5枚につきワンデークーポン1枚と引換)	7枚
3,000株以上	さがみ湖ビクニックランド(1枚につき1名入園、5枚につきフリーバス1枚と引換) スノータウンYeti(5枚につき1日入場済走券1枚と引換)	10枚
5,000株以上	あだたら高原スキー場(5枚につきアフト1日券又はゴンドラ往復券1枚と引換) 初島アイランドリゾート(1枚につき1名入園) 天上山公園カチカチ山ロープウェイ(1枚につき1名乗車(往復)) 河口湖遊覧船・山中湖遊覧船・本栖湖遊覧船(1枚につき1名乗船)	15枚
10,000株以上	初島航路(1枚につき1名乗船(片道)) フジヤマミュージアム(1枚につき1名入館)	25枚
20,000株以上	ふじやま温泉(2枚につき大人1名入館、1枚につき小人1名入館) 富士芝桜まつり(富士本栖湖リゾート)(1枚につき1名入園)	40枚

※開催期間をご確認ください。

## フリーバス引換券

ご所有株式数	ご優待の内容	枚数
1,000株以上		1枚
3,000株以上		2枚
5,000株以上	遊園地フリーバス(富士急ハイランド・ぐりんぱ・さがみ湖ビクニックランド)	3枚
10,000株以上	スキー場一日券(スノータウンYeti・あだたら高原スキー場)	4枚
20,000株以上		5枚
35,000株以上		6枚

## 施設割引券

ご所有株式数	ご優待の内容	枚数	
1,000株以上	ハイランドリゾートホテル&スパ ホテルマウント富士	1枚につき1室室料20%又は自社企画宿泊商品10%割引 2枚	
	富士急グループホテル アール割引券	ハイランドリゾートホテル&スパ・ホテルマウント富士 20%割引(1枚につき4名まで)	2枚
	あだたら高原富士急ホテル 富士宮富士急ホテル 甲府イーストサイドホテル	3ホテル共通1枚につき1室室料20%又は 自社企画宿泊商品10%割引	2枚
	富士急グループホテル 飲食割引券	レストラン・バー、食事付入浴 10%割引 (1枚につき4名まで)	5枚
	富士ゴルフコース	バック料金から2,000円割引(1枚につき4名まで)	1枚
	ゴルフパーク「Bandi」	バック料金から2,000円割引 日曜・祝日 3,000円割引(1枚につき4名まで)	1枚
	大富士ゴルフ場	バック料金から2,000円割引(1枚につき4名まで)	1枚
	ふじやま温泉	入館料 平 日 大人750円 小人400円 土休日 大人1,000円 小人500円 (1枚につき4名まで)	2枚
	PICA山中湖ヴィレッジ	コテージ1棟(素泊り)10%割引 レストラン「P's natural」5%割引	2枚
	PICA富士吉田・PICA富士西湖・ キャンピカ富士ぐりんぱ	1枚につき1泊1室10%割引	2枚
	富士ミネラルウォーター	1枚につき20%割引(1ケース以上)	1枚
	富士急トラベル	パッケージ旅行代金の5%割引 (1枚につき4名まで)	2枚
	富士急ハイランドボウリング場	1ゲーム350円(1枚につき4名まで)	2枚
	富士急オートサービス	車検・点検・整備 工賃10%割引	1枚

## 長期保有特別優待券(3年継続保有毎)

ご所有株式数	ご優待の内容	枚数
10,000株以上	「ハイランドリゾートホテル&スパ」「ホテルマウント富士」の指定する	2枚
35,000株以上	ツインルーム室料100%又はホテル内レストラン利用料30%割引券	3枚

注)対象となる方は、過去3年間すべての基準日において、1万株以上又は3万5千株以上を継続して保有し、かつ株主番号又は氏名・住所が継続して同一である株主様に限ります。  
証券保管振替機構をご利用になる際など、株主番号が変更になる場合には、登録する氏名の  
新字体と旧字体の違いなどにもご注意ください。

注)年末年始、ゴールデンウィーク、旧盆(8月)等、ホテルが定めた日のご宿泊にはご利用いただけません。レストラン利用料の割引額の上限は3万円といたします。

## 高速バス乗車券

ご所有株式数	ご優待の内容	枚数
5,000株以上		1枚
10,000株以上	高速バス乗車券	2枚
20,000株以上		4枚

注)高速バス乗車券は、中央高速バス富士五湖線・甲府線および東名高速バス東京駅～河口湖線の当社便に限りご利用いただけます。

## 電車・バス全線優待バス

ご所有株式数	ご優待の内容	枚数
35,000株以上	電車・バス全線優待バス(表示された持参人1名)	1枚

## 各種株主優待券の発行時期および有効期間

	発行時期	有効期間
3月31日現在の株主様	5月	11月30日まで
9月30日現在の株主様	11月	5月31日まで

※各種株主優待券は毎年3月31日および9月30日の最終の株主名簿・実質株主名簿に記載された1,000株以上ご所有の株主様に送付いたします。

※長期保有特別優待券の有効期間に限り、「1年間」といたします。



# 富士登山に チャレンジ

日本人なら一度は登ってみたいと思う山、富士山。日本最高峰にたどり着いた時の達成感は感動的です。富士急グループでは登山シーズン期間、新宿、静岡からのアクセスが便利な高速バスを運行しています。また各駅から登山口までの路線バスの往復割引もあります。



## 路線バス往復及び登山口自由選択セット運賃( ( ) 内は通常運賃)

登山口 \ 下山口	河口湖駅 (河口湖口)	三島駅 (三島口)	新富士駅・富士駅 富士宮駅 (富士宮口)	御殿場駅 (御殿場口)	御殿場駅 (須走口)
河口湖駅 (河口湖口)	2,000円 (3,000)	3,000円 (3,890)	3,000円 (3,810)	2,500円 (2,580)	2,500円 (3,000)
三島駅 (三島口)	3,000円 (3,890)	3,000円 (4,780)	3,000円 (4,700)	3,000円 (3,470)	3,000円 (3,890)
新富士駅・富士駅・ 富士宮駅 (富士宮口) <small>※( )内は新富士駅からの通常運賃</small>	3,000円 (3,810)	3,000円 (4,700)	3,000円 (4,620)	3,000円 (3,390)	3,000円 (3,000)
御殿場駅 (御殿場口)	2,500円 (2,580)	3,000円 (3,470)	3,000円 (3,390)	1,500円 (2,160)	2,000円 (2,580)
御殿場駅 (須走口)	2,500円 (3,000)	3,000円 (3,890)	3,000円 (3,810)	2,000円 (2,580)	2,000円 (3,000)

## 路線バス

新松田駅～富士山五合目(須走口) 往復 3,000円(片道1,700円)

※6月～10月運行予定

お問い合わせ/富士急湘南バス TEL.(0465) 84-0093

## 高速バス

新宿駅～富士山五合目(河口湖口) 往復 5,200円(片道2,600円)

※春期・秋期、土日祝日のみ2往復 ※夏期は毎日6往復

京王高速バス予約センター TEL.(03) 5376-2222

富士急高速バス予約センター TEL.(0555) 72-5111

インターネット [www.highwaybus.com](http://www.highwaybus.com)

予約制  
(全席指定)

静岡駅～富士山新五合目(富士宮口) 往復 4,500円(片道2,500円)

※夏期のみ1日2往復運行

富士急静岡バス TEL.(0545) 71-2660

インターネット [www.j-bus.co.jp](http://www.j-bus.co.jp)

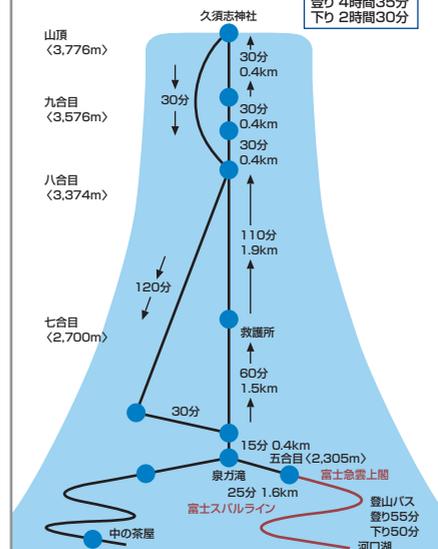
予約制  
(全席指定)

## 富士登山情報

### 吉田口・河口湖口

東京方面から一番近くて人気

標準  
登り4時間35分  
下り2時間30分



富士急山梨バス本社営業所 TEL.(0555) 72-6877



## 富士急雲上閣 (富士山五合目)

〒401-0300 山梨県南都留郡鳴沢村富士山8545-1  
TEL. (0555) 72-1355 FAX. (0555) 72-1356  
www.fujikyū.co.jp/unjyokaku

### 営業期間

4月1日～11月30日(予定)

### 営業時間

春・秋期 8:30～17:00 夏期 6:00～23:00

### 施設

レストラン(椅子席360席・広間250名)／客室(7室60名・夏季宿泊は120名収容)／水洗トイレ／駐車場(乗用車200台・バス50台)

### 登山シーズン(6/30～9/15)の

#### 宿泊料金(消費税込)

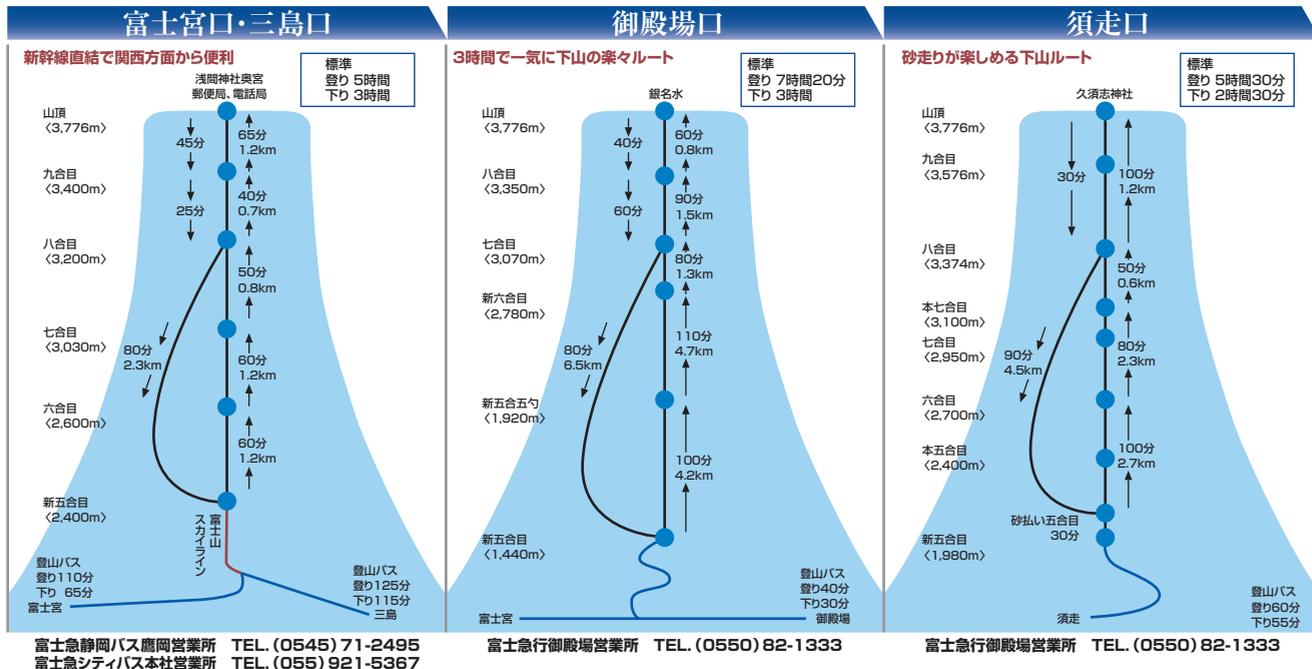
素泊り1泊	5,250円
1泊2食付	7,875円

### 交通

車／中央自動車道河口湖I.C.より  
富士スバルライン経由約45分  
東名高速道路御殿場I.C.より  
東富士五湖道路・富士スバルライン経由約75分  
電車・バス／JR中央線大月駅で富士急行線乗り換え  
河口湖駅より五合目行きバス50分

標高2300m、富士山五合目の河口湖口 富士スバルライン終点。  
食堂や土産売店、宿泊施設があり、富士登山の拠点として重要な  
スポットです。五合目は、車やバスでいける富士山の最高地点。  
遠く関東平野、北アルプス、南アルプスを一望できます。

※登山バスの時刻のお問い合わせは地図下の各営業所まで。



# 会社概況

## 会社概要 (平成20年3月31日現在)

商号	富士急行株式会社 FUJI KYUKO CO., LTD.
所在地	本社：山梨県富士吉田市新西原五丁目2番1号 東京本社：東京都渋谷区初台一丁目55番7号
設立	大正15（1926）年9月18日
資本金	91億2,634万円
代表者	代表取締役社長 堀内光一郎
主要事業	鉄道事業、自動車運送事業、土地建物の売買・貸借・媒介その他各種不動産事業、 旅館業・遊園地その他各種観光事業等

## 役員 (平成20年3月31日現在)

取締役会長 (代表取締役)	堀内光雄	取締役	秋山智史	常勤監査役	矢野勝
取締役社長 (代表取締役)	堀内光一郎	取締役	藤田讓	常勤監査役	清水守
専務取締役	帆足雅晴	取締役	尾崎護	監査役	堀田力
専務取締役	澤辺正恭	取締役	梶原実	監査役	吉本信一
常務取締役	堀内哲夫	取締役	小泉孝範	監査役	岡本和也
取締役	林有厚	取締役	石川二比古		
取締役	宇野郁夫	取締役	福重隆一		
		取締役	小林正幸		

## 連結子会社の状況 (平成20年3月31日現在)

<b>■運輸部門</b> 岳南鉄道(株) 富士急行観光(株) 富士急平和観光(株) 富士急山梨バス(株) 富士急シティバス(株) 富士急静岡バス(株) (株)フジエクスプレス 富士急湘南バス(株) 富士急オートサービス(株) (株)静岡ホールディング	富士急伊豆タクシー(株) 富士急山梨ハイヤー(株) (株)富士急マリンリゾート 他6社  <b>■不動産部門</b> (株)富士急リゾートアメニティ 他1社	<b>■レジャー・サービス部門</b> (株)富士急ハイランド (株)フジヤマリゾート 相模湖リゾート(株) (株)富士宮富士急ホテル ハイランドリゾート(株) 表富士観光(株) 富士急安達太良観光(株) 富士観光興業(株) 表富士グリーン観光(株) 富士急トラベル(株)	(株)ピカ 他2社  <b>■その他部門</b> (株)富士急百貨店 富士急建設(株) (株)レゾナント・システムズ 富士ミネラルウォーター(株) 他4社
---	---	--	---

## 株式の状況 (平成20年3月31日現在)

発行可能株式総数	331,695,000株
発行済株式の総数	109,769,477株
株主数	6,282名

## 大株主 (平成20年3月31日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
財団法人堀内浩庵会	12,912	11.76
株式会社エフ・ジェイ	12,708	11.58
日本生命保険相互会社	10,684	9.73
富国生命保険相互会社	10,675	9.72
朝日生命保険相互会社	7,650	6.97
株式会社東京ドーム	3,052	2.78
みずほ信託退職給付信託スルガ銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託	2,555	2.33
日野自動車株式会社	2,506	2.28
株式会社山梨中央銀行	2,473	2.25
富士急行株式会社	2,409	2.20

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	(電話問合せ)	〒137-8081
定時株主総会	6月	(郵便物送付先)	東京都江東区東砂七丁目10番11号
基準日	3月31日		三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
単元株式数	1,000株		Tel.0120-232-7111 (フリーダイヤル)
公告方法	東京都において発行する日本経済新聞に 掲載	同 取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 全国本支店
上場取引所	東京証券取引所 (第1部)		
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社		
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部		



## 富士急行株式会社

本 社 山梨県富士吉田市新西原五丁目2番1号  
東京本社 東京都渋谷区初台一丁目55番7号  
<http://www.fujikyū.co.jp/>